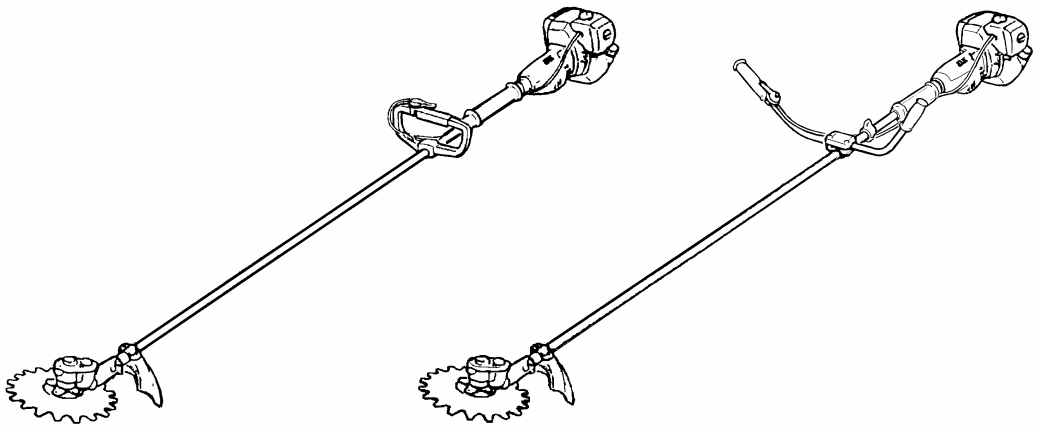
848-BR3-93A2 (E3/A1203)

ZENOAH®

ゼノア揺動式草刈機 取扱説明書

SGC2310DLW-EZ

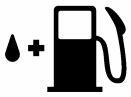


※この製品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
＊This product is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any country.

警告 ⚠	● この取扱説明書には製品をご使用いただく上で、事故を防ぐ重要な注意事項と製品の取扱い方が示されています。この取扱説明書を良く理解した上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。 ● 電気関係部品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。
これらの表示に従って**誤操作のないよう**ご注意ください。

マーク表示部位	図　柄	意　　味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表わします。
エアクリーナカバー		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが開くことを示します。

はじめに

このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためにこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあったときには取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた ⚠ の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

⚠ 危険	： 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	： 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	： 注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。
重要	： 注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。
補足	： その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目　　次

⚠ 正しくお使いいただくために……1

警告ラベルとその取扱い……6

サービスと保証について……7

組立

エンジンと本体の結合……8

カッタケースの取り付け……8

ハンドルの取り付け……9

飛散防護カバーの取り付け……10

スロットルワイヤの遊び調整……10

燃料……11

給油……12

エンジンのかけかた……13

エンジンのとめかた……15

操作方法

肩掛バンドの装着……16

緊急離脱用ツマミの操作方法……16

操作要領……17

点検整備

作業前後点検……18

定期点検……18

刈刃……19

エアクリーナ……21

燃料フィルタ……21

スパークプラグ……22

冷却用空気通路……23

ギヤケース……23

100時間使用毎の手入れ……24

エンジンの調整……24

長期保管時の手入れ……25

製品主要諸元……26

⚠ 正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「⚠ 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■ 製品をお使いになる前に

●ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品の機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。

●本製品は地表の雑草刈りを用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので、本来の用途以外の目的（樹木の枝落しや植え込みの剪定、材木の切断など）には使用しないでください。

●本製品は刃物を装備しているため、操作を誤ると非常に危険です。
疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作ができない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。

●エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。
屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では本製品を使用しないでください。

●次のような場合はお使いにならないでください。

① 足元が滑りやすいなど、安定した作業姿勢の保持が困難な場合
② 霧や夜間など、視界不良のため作業現場周辺の安全確認が困難な場合
③ 天候悪化時（降雨、強風、雷など）

●初めてお使いになる場合は、実作業に入る前に熟練者から製品の取扱い指導を受けてください。

●疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。

（参考）国有林では、作業者の健康管理のため、次のような基準が設けられています。

作業は連続3日を限度として		
1回の連続作業時間	30分	以内
1日の作業時間	2時間	以内
1週の作業日数	4日	以内
1月の作業時間	32時間	以内

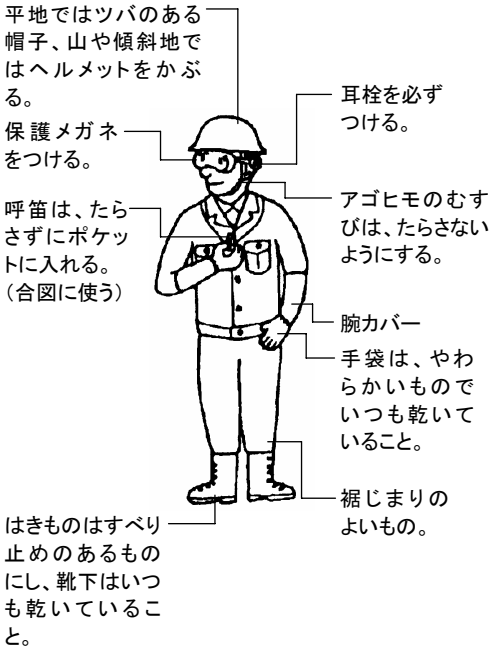
●この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。

●小さいお子様の手の届くところに保管しないでください。

●本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。

正しくお使いいただくために

■ 使用時の服装・装備



●本製品をお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、次の用品を着用してください。

① 作業帽子（傾斜地作業時はヘルメット）
② 保護メガネまたは顔面防護ネット
③ 丈夫な手袋
④ 滑りにくく丈夫な靴
⑤ 耳栓（特に長時間作業時）

●また、次の用品を携行してください。

① 製品付属工具および目立てヤスリ
② 適切な容器に入れた燃料
③ 交換用刈刃
④ 作業区域表示用具（ロープ、立て札等）
⑤ 呼笛（共同作業時や非常時の合図用）
⑥ なた、手のこ（障害物除去用）

●裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履などでの作業はしないでください。

■ 燃料に関する注意事項

●本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。
焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

●くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。

●燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。
通気の悪い屋内で給油作業をすると気化した燃料に引火する恐れがあります。

●使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

●給油後は、燃料容器を密閉してから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

●給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。

正しくお使いいただくために

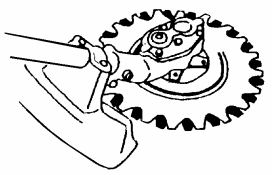
■ 使用前の注意事項

●作業を始める前に現場の状況（地形、刈り払う草の性質、障害物の位置、周囲の危険度など）をよく確かめ、移動可能な障害物は除去してください。

●作業者から15m以内を危険区域とし、この中に人が立ち入らないよう標識ロープで囲む、立て札を立てる等の警告表示をしてください。また、数人で共同作業を行なう場合は、緊密に合図しあうなどして常に安全間隔を確保してください。

●作業を開始する前に機体各部を点検し、ネジ類のゆるみ、燃料漏れ、損傷、変形などの異常がないことを確かめてください。特に刈刃および刈刃取付部、ハンドル取付部は入念に点検してください。

●飛散防護カバーを取り外した状態で使用しないでください。



飛散防護カバー

●肩掛けバンドは正しく着用し、作業時は機体の所定位置に接続して使用してください。

●刈刃はよく目立てされたものを使用してください。

●刈刃は、欠け、ひび割れ、曲がりなどがないことを確認してから使用してください。異常のある刈刃は絶対に使用しないでください。

■ エンジン始動時の注意事項

●エンジンを始動するときは周囲（15m以内）の安全をよく確かめてください。

●本製品は遠心クラッチを装備しているため、スロットルレバーを「始動」位置にセットしてエンジンをかけると、始動と同時に刈刃が動き始めます。始動時は機体を地上において、刈刃やスロットルレバーが地面や周囲の障害物に触れないよう機体をしっかり押えてください。

●スロットルレバーを「高速」位置にしてエンジンを始動しないでください。

●エンジン始動後、スロットルレバーを完全に戻した状態で刈刃が動かないことを確かめてください。刈刃が動き続ける場合はエンジンを停止し、スロットルワイヤ他の点検整備を行なってください。
（本文10ページおよび24ページ参照）

●スタータノブを引いた後遅れてエンジンが始動することがあります。始動するまで機体を押えていてください。

●エンジンを始動する際に、
- ・スタータノブが軽く引けなかったり、戻らずにスタータロープが垂れる。
- ・スタータノブを引いてもエンジンがかからない。
- ・エンジンが10秒以上遅れて始動する。

等のときはスパークプラグを必ず取り外して、分解せずにそのままお買い上げ店にご相談ください。

注意）スパークプラグが付いたままだと、不意にエンジンがかかる恐れがあります。

正しくお使いいただくために

■ 作業時の注意事項

●作業時は機体の握り部（ハンドルグリップ）を両手でしっかり握って操作してください。作業を中断する場合は、スロットルレバーを完全に戻し、エンジンを停止してから手を離してください。

●刈払作業はゆとりのある安定した姿勢で行なってください。

●エンジンの回転は作業に必要な範囲に保ち、不必要に上げないでください。

●刈刃に巻き付いた草を取り除いたり、刈刃や機体の点検、燃料補給が必要な場合は必ずエンジンを停止してから行なってください。

●刈刃が石などの硬いものに当ったときはすぐにエンジンを停止し、刈刃に異常がないか点検してください。
異常があった場合は作業を中止し、正常な刈刃に交換してください。

●作業中に後方から声をかけられた場合は、振り向く前に必ずエンジンを停止してください。

●電気ショックを受ける可能性がありますので、エンジン運転中はスパークプラグやプラグコードに触れないでください。

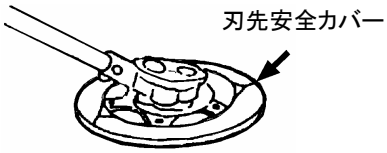
●高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止直後は素手でマフラなどの金属部に触れないでください。

●作業を中断して移動するときは、エンジンを停止し、刈刃を前向きにして持ち運んでください。

●運転中は、冷却用空気取入口に物を差し込んだりしないでください。
回転部品に触れる恐れがあり危険です。

■ 運搬時の注意事項

●運搬時は刈刃に、付属の刃先安全カバーを装着するか、適切な覆いをしてください。



●車両で運搬するときは、燃料タンクを空にしてからロープなどで機体を荷台に確実に固定してください。
危険ですので自転車やバイクでの運搬はしないでください。

●燃料タンクに燃料を入れたまま長時間悪路上を運搬しないでください。キャップがゆるみ燃料が漏れ出す恐れがあります。

正しくお使いいただくために

■ 整備上の注意事項

●この取扱説明書では、製品の機能維持に必要な整備について説明しています。本書に記載されていない整備が必要な場合は、お買い上げ店または最寄のゼノア製品取扱店にご相談ください。

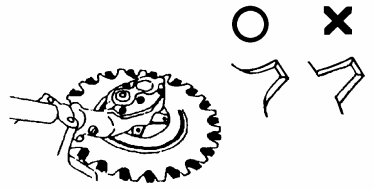
●製品の改造や分解等はしないでください。運転中に機体が破損したり、正常な操作ができなくなる危険があります。

●点検整備時は、必ずエンジンを停止してください。

●エンジン停止直後は、素手でマフラやスパークプラグに触れないでください。
高温のためやけどの危険があります。

●刈刃の着脱や研ぎ直しをするときは、けが防止のため厚手の作業用革手袋を着用してください。

●刈刃を研ぎ直すときは割れ防止のため必ず刃元に丸みをつけてください。

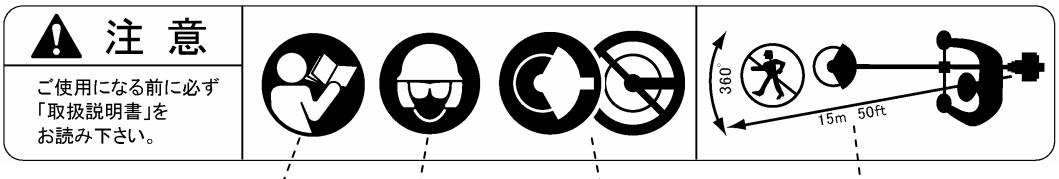


●刈刃などの交換用部品や補充用油脂類は、必ずゼノア純正品または当社指定銘柄品を使用してください。

正しくお使いいただくために

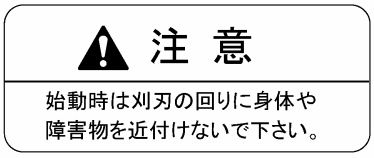
■ 警告ラベルとその取扱い

①品番 Z6420-11590

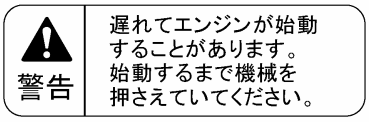


取扱説明書を読むこと　ヘルメット・保護メガネ・耳栓着用のこと　飛散防護カバーを取り外さないこと　１５ｍ以内に人を近付けないこと

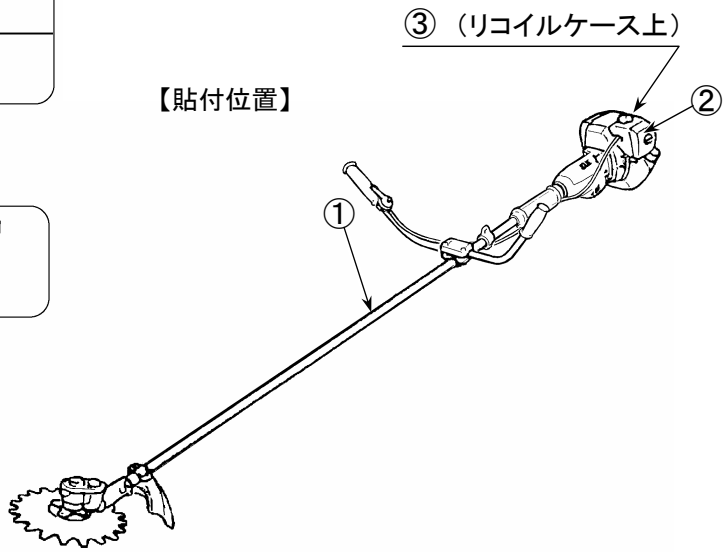
②品番 Z5500-91190



③品番 T1812-91190



【貼付位置】



【ラベルのメンテナンス】

（1）警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。

（2）警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。

（3）新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

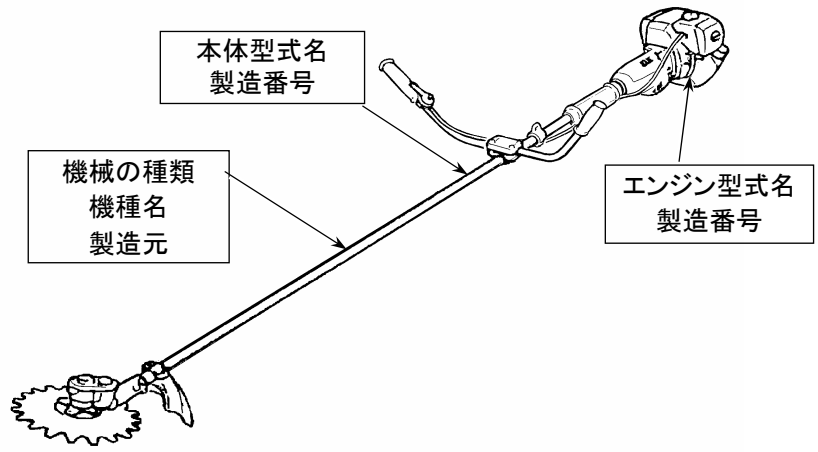
サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。

製品・技術・その他に関してお気付きの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口（裏表紙記載）にお寄せください。



保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、製造打切後８年です。

ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

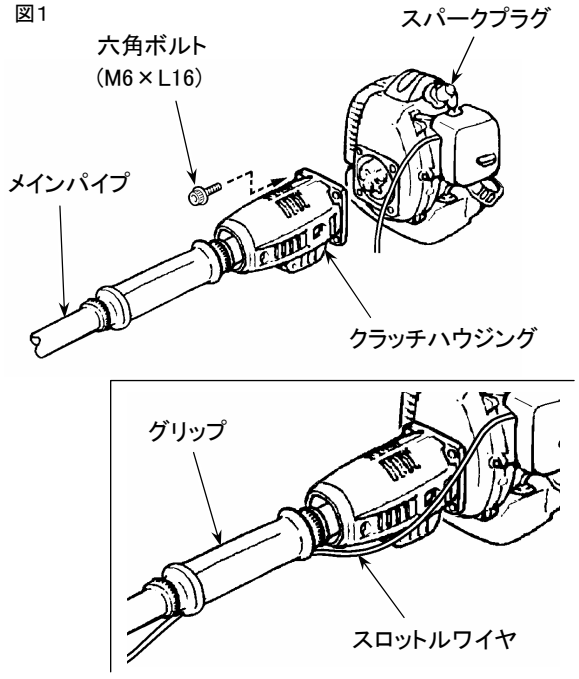
⚠警告	機械の改造は危険ですので、改造しないでください。 改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

組　　立

⚠ 注 意	● 組立時は各部品を正しく組み付けてください。組み付けを誤ると事故を招く恐れがあります。 ● ご自身で組立が困難な場合はお買い上げ店にご相談ください。

■ エンジンと本体の結合

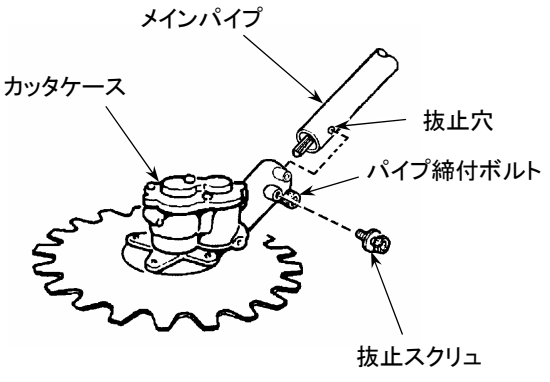
図1



1. メインパイプのラベルが貼られている側とエンジンのスパークプラグが付いている側を同じ向きにしてください。
2. 左図のようにメインパイプのクラッチハウジング部をエンジンのクラッチ側にあてがい、付属の六角ボルト（M6×L16）４本で均等に締め付けてください。
   【締め付けトルク】
   2～2.9N･m｛20～30kgf-cm｝
3. 左図のようにスロットルワイヤをグリップの穴に通してください。

■ カッタケースの取り付け

図2



1. カッタケースに仮付けされている抜止スクリュ（M5×L14）を取り外してください。
2. メインパイプをカッタケースに差し込み、抜止穴の位置を合わせてから、抜止スクリュを元通り取り付けてください。

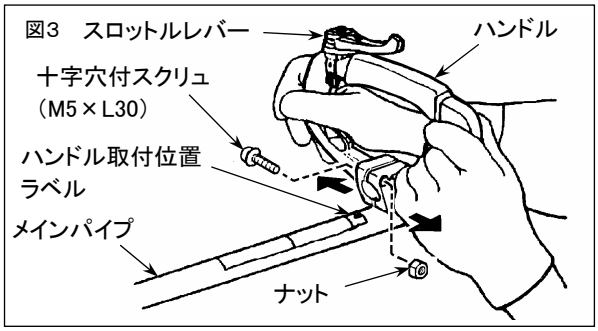
重要 **抜け止め穴がずれた状態で無理にスクリュをねじ込むとパイプ変形やねじ部破損の恐れがあります。スクリュが入りにくい場合は、いったん取り外して穴がずれていないか確かめてください。**

3. カッタケース端部のパイプ締付ボルトを締め付けてください。

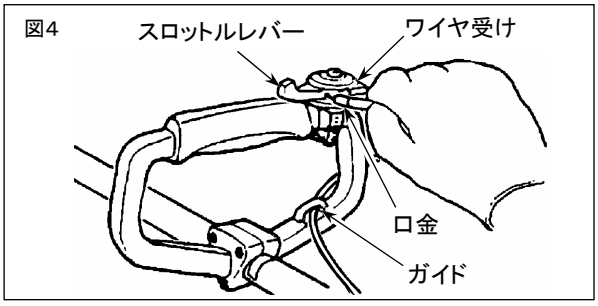
■ ハンドルの取り付け

SGC2310DLWにはループハンドルと両手ハンドルの両方が付属しています。作業条件に合わせて使いやすい方を取り付けてご使用ください。

ループハンドルの取り付けかた

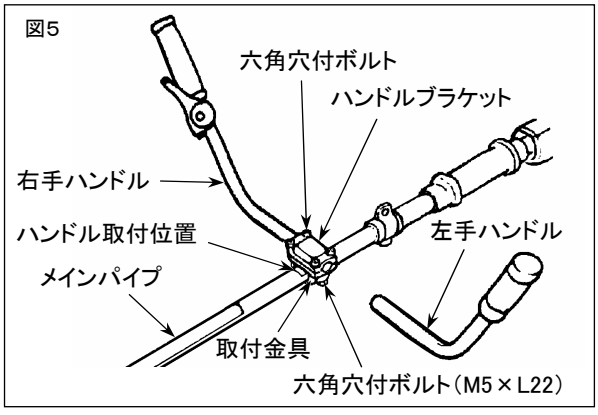


1. ハンドルを、スロットルレバーがエンジン側から見て右側になるようにして持ち、左右に広げながらメインパイプに取り付けてください。
2. ハンドルをメインパイプの「ハンドル取付位置」ラベルに合わせてから、付属の十字穴付スクリュ（M5×L30）３本とナットで均等に締め付けてください。

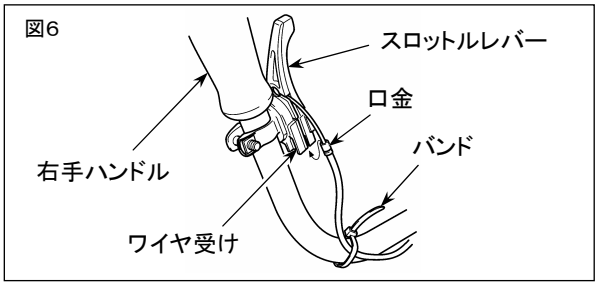


3. 左図のようにスロットルワイヤをハンドル内側のガイドに通してから、先端部をスロットルレバーの凹みにはめ込んだ後、ワイヤを引きながら口金部をレバー側のワイヤ受けにはめてください。

両手ハンドルの取り付けかた



1. 右手ハンドル付きのハンドルブラケットをメインパイプの「ハンドル取付位置」に合わせて、付属の取付金具と六角穴付ボルト（M5×L22）２本で均等に締め付けてください。
2. ブラケット上部の六角穴付ボルト４本を少しゆるめて左手ハンドルをブラケット中央部まで差し込み、ボルトを元通り均等に締め付けてください。

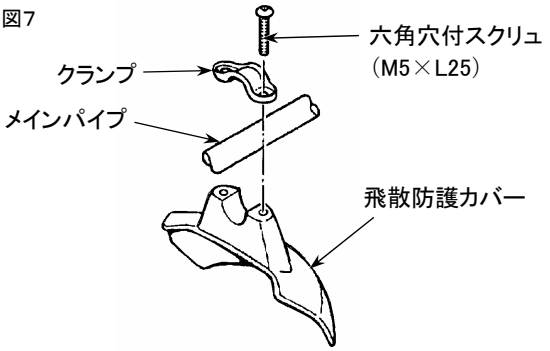


3. スロットルワイヤの先端をスロットルレバーの凹みにはめ込み、ワイヤを引きながら口金部をワイヤ受けにはめてください。
4. 付属のバンドで、スロットルワイヤをハンドル下部にくくりつけてください。

■ 飛散防護カバーの取り付け

⚠ 注 意	飛散防護カバーを取り外した状態で使用しないでください。

図7

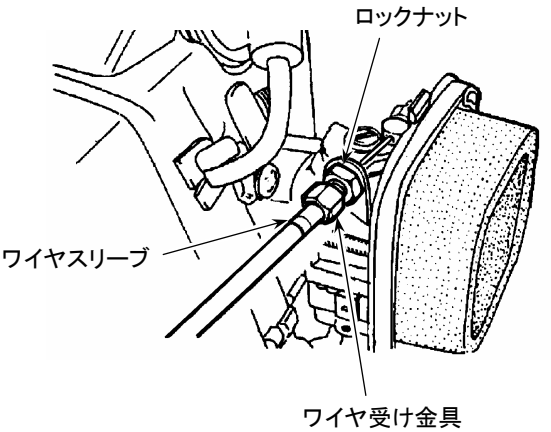


カッタケースから約10cm離れた位置で付属の飛散防護カバーをメインパイプにあてがい、付属のクランプと六角穴付スクリュ(M5×L25) 2本で均等に締め付けてください。

■ スロットルワイヤの遊び調整

⚠ 注 意	スロットルワイヤ取り付け後、ワイヤスリーブの口金部がワイヤ受け金具に正しく収まっていることを確かめてください。スリーブの口金部がワイヤ受け金具に乗り上げていると、スロットルレバーを戻してもエンジン回転が下がらず危険です。

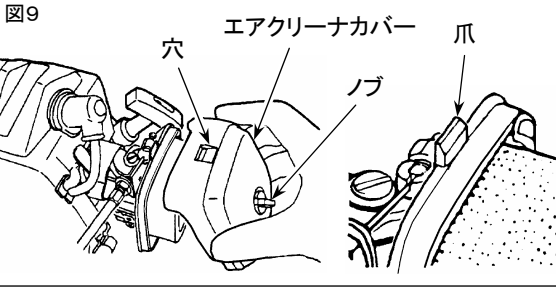
図8



スロットルワイヤの遊びは、スロットルレバーを完全に戻した位置にしてワイヤ受け金具から出ているワイヤスリーブを指でつまんで軽く引いたときに、1～2mm動く程度であれば適正です。遊びが大き過ぎたり小さ過ぎる場合は、下記の要領で再調整してください。

1. エアクリーナカバーのノブをゆるめてカバーを取り外してください。
2. ロックナットをゆるめ、ワイヤ受け金具の位置を調整してください。
   遊びは、ワイヤ受け金具を右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。
3. 調整後はロックナットを締め付けてワイヤ受け金具を固定してください。

図9



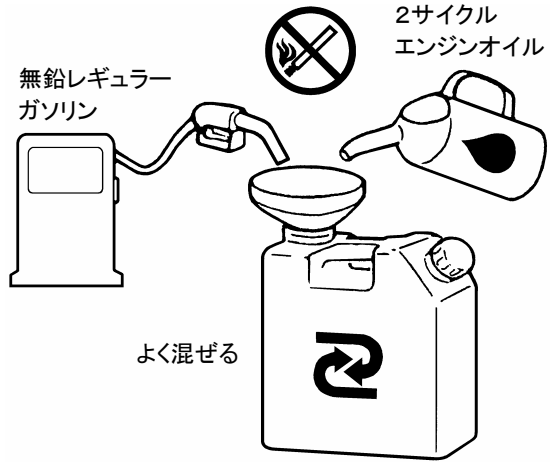
4 エアクリーナカバーを元通り取り付けます。
エアクリーナ本体上部の爪をカバーの穴に入れてからノブを締め込んでください。

燃　　料

⚠ 危 険	● 燃料は非常に引火しやすいため取扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。 ● 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。 ● 混合作業は屋外で行ってください。 ● 草刈機や燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。

重 要	● オイルが混合されていないガソリン（生ガソリン）を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。 ● 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。 ● 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。草刈機や燃料容器に水がかからないようにしてください。 ● 4サイクルエンジン用オイルや水冷2サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。

図10



燃料は、自動車用無鉛ガソリンと空冷２サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

〔混合比〕

□ゼノア純正2サイクルオイル（FD級）使用時

……50：1

（ガソリン1Lに対しオイル20mL）

□ゼノア純正2サイクルオイル（FC級）使用時

……40：1

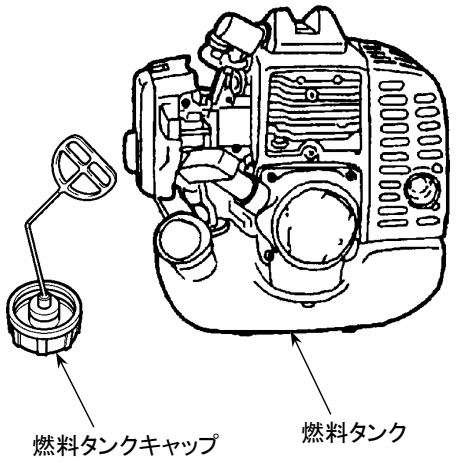
（ガソリン1Lに対しオイル25mL）

給　　油

⚠ 危 険	● 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。 給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。 ● 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。 ● 燃料タンクキャップは確実に締め付けてください。 ● 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。

重 要	燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。燃料を入れ過ぎると、運転時に燃料タンクキャップから燃料がもれる恐れがあります。

図11



1. 給油する草刈機を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクキャップを取り外し、８分目を目安に少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったら燃料タンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

― ゼノア純正 ビッグバンガソリン ―

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された2サイクルエンジン専用の混合燃料です。

◎変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放
◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合
◎混合の手間不要
◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。

詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

エンジンのかけかた

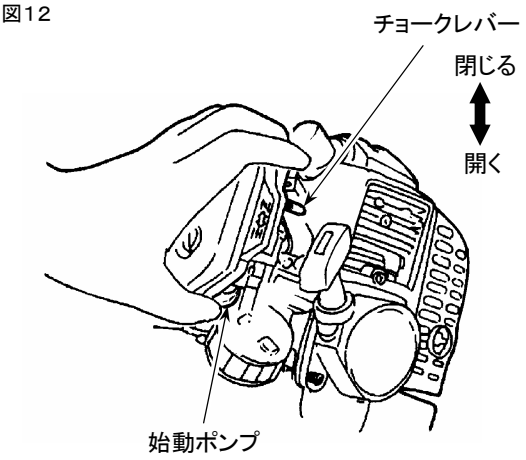
⚠ 危 険	● 燃料を補給後エンジンを始動する場合は、機械を給油した場所から3m以上離れた場所に移してから始動してください。 給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。 ● 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。 人体に有害な一酸化炭素中毒の恐れがあります。

⚠ 警 告	● 遅れてエンジンが始動することがあります。始動するまで機体を押えていてください。 ● エンジンを始動する際に、 ・スタータノブが軽く引けなかったり、戻らずにスタータロープが垂れる。 ・スタータノブを引いてもエンジンがかからない。 ・エンジンが10秒以上遅れて始動する。 等のときはスパークプラグを必ず取り外して、分解せずにそのままお買い上げ店にご相談ください。 注意）スパークプラグが付いたままだと、不意にエンジンがかかる恐れがあります。 ● エンジンの始動、停止時、移動時は常にスロットルレバーをアイドリング位置にしてください。レバーがアイドリング位置以外になっていると、不意にエンジンが始動した際、刈刃が回転し始めてしまうので非常に危険です。

⚠ 注 意	● 給油時にこぼれた燃料は、エンジンを始動する前に布で確実にふき取ってからエンジンを始動してください。 ● 始動前に機体各部を点検し、ハンドル取付部のゆるみ、スロットルレバーの作動不良、刈刃取付部のゆるみや燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。 ● 始動時は機体を地面に置いて確実に保持してください。刈刃が地面や周囲の障害物に触れる危険がありますので、機体を片手で持ち上げたまま始動しないでください。 ● スロットルレバーを引いた状態でエンジンを始動しないでください。 始動と同時に刈刃が動き始めますので非常に危険です。始動時は機体を安定した地面におき、刈刃の周囲から障害物を遠ざけてください。 ● 始動時は刈刃が地面に触れないようにし、周囲の障害物を遠ざけてください。 ● エンジンがかかったら刈刃が動かないことを確認してください。 刈刃が動き続ける場合は、エンジンを停止してスロットルワイヤおよびキャブレタのアイドル調整スクリュを点検してください。 ● 運転時は常に両手でグリップ部を握り、刈刃から目を離さないでください。 ● やけどの恐れがありますので運転中および停止直後はエンジン本体やマフラの金属部に触れないでください。 ● 感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。 ● 周囲に小さいお子様がいるところで、エンジンの始動操作をしないでください。

重 要	チョークを閉じたまま始動操作を繰り返すと、スパークプラグの電極がぬれてエンジンがかからなくなることがあります。 このような場合は、チョークを開き、スロットルレバーを全開に近い位置にセットしてからスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグを取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。

図12



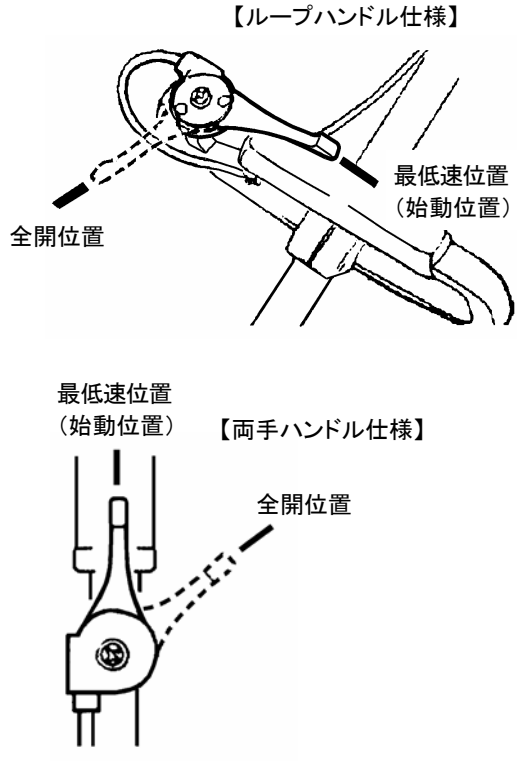
1. キャブレタ下部の始動ポンプでキャブレタに燃料を満たします。燃料が透明なパイプを通ってタンクに戻り始めるまで、ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。

補足　タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。

2. エアクリーナ右側のチョークレバーを上げてチョークを閉じてください。

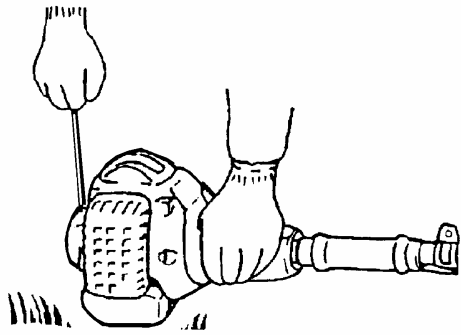
補足　エンジン停止直後に再始動する場合はチョークを開いたままスタータロープを引いてください。

図13



3. スロットルレバーを最低速位置にセットしてください。

図14



4. 機体を安定した地面に置き、刈刃の周囲に障害物のないことを確かめてから、左手でクラッチハウジングを押えて右手でスタータノブを素早く引いてください。スタータノブは、**始めは軽く**引き出し、**重くなったら力をこめて素早く**引いてください。

重要　**スタータ故障の原因となりますので、ロープを最後まで引き出したり、ノブから手を離して戻したりしないでください。**

5. エンジンが始動したらチョークを徐々に開いてください。

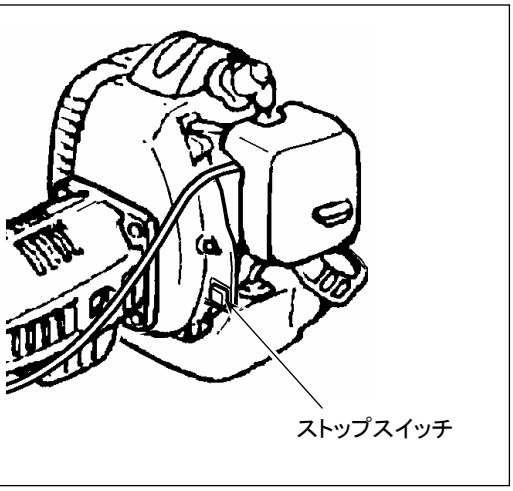
6. 本格運転前に2～3分間低速で暖機運転してください。

エンジンのとめかた

⚠ 注 意	● 緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。 ● エンジン停止直後はマフラやスパークプラグに素手で触れないでください。 高温のため火傷の危険があります。

重 要	エンジン回転数を上げたまま停止操作をすると、エンジンに無理がかかります。 緊急時以外はスロットルレバーを戻してエンジン回転数を下げてから停止操作をしてください。

図15



1. スロットルレバーを完全に戻してください。

2. ストップスイッチを、エンジンが完全に停止するまで押し続けてください。

操　作　方　法

⚠ 注 意	● 使用時は、本書の「正しくお使いいただくために」（1～5ページ）記載の注意事項を守って正しく操作してください。 ● 草刈機を装着する際は、スロットルレバーを完全に戻し、刈刃の動きが完全に停止してから行ってください。

■ 肩掛バンドの装着

⚠ 注 意	● 装着前にハーネスとハンガーに変形や損傷がないことを確認してください。 ● 装着後に機体を押し下げ、フックが容易に外れたりバンドがゆるんだりしないことを確認の上ご使用ください。

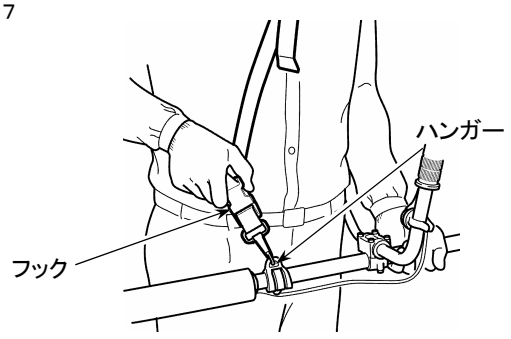
図16

1. 付属の肩掛バンドを、左肩から右腰にタスキ掛けしてください。
2. エンジンをかけ、スロットルレバーを最低速位置に戻してから、肩掛バンドのフックを機体の吊り下げ部に取り付けてください。
3. 肩掛バンドの長さは、自然な姿勢で草刈機を持ったときに、肩掛バンドがたるまず刈刃が地面と水平になるように調節してください。バンドの余った部分はバックル部で折り返し、作業中のゆるみを防いでください。

■ 緊急離脱ツマミの操作方法

⚠ 注 意	緊急離脱ツマミを使って草刈機を切り離す場合は、必ず左手で機体を支えながらツマミを操作してください。機体を支えずに切り離すと草刈機が落下します。

図17



給油時や緊急時など、草刈機を直ちに肩掛けバンドから外したい場合は、フック上部の凹部を両側から指でつまんでください。
フック保持部が２つに分離し、フックをハンガーにかけたまま、肩掛バンドと草刈機を切り離すことができます。

■ 操作要領

- エンジンをかけ、スロットルレバーを引いてエンジンの回転を上げていくと、自動的にクラッチがつながり、刈刃が動き始めます。スロットルレバーを戻すとクラッチが切れ、刈刃の動きが止まります。
- 刈刃は全方向同じように切れます。作業条件に合わせて使いやすい方向に移動させてください。
- 刈刃部を地面に置いて滑らせるようにすると腕の疲労を少なくできます。
- 刈刃部は、刃の動きに合わせて適切なスピードで移動させてください。移動スピードが速すぎると草に引っかかったり、刈り残しができたりして能率がかえって低下します。

点　検　整　備

⚠ 注 意	● 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。 ● 機体の改造やエンジンの分解はしないでください。 ● 部品交換時はゼノア純正部品または指定品を使用してください。 ● ご自身で点検整備できない場合は、お買い上げ店に依頼してください。

■ 作業前後点検

作業前後に次の点検を行ってください。

点検項目			処置
1	刈刃	・取付ボルトゆるみ ・割れ、曲がり ・刃先磨耗	・締め付け ・交換 ・研ぎ直しまたは交換
2	飛散防護カバー	・取付部ゆるみ ・破損	・締め付け ・交換
3	ハンドル	・取付部ゆるみ ・曲がり、破損	・締め付け ・交換
4	スロットルレバー	・動きが悪い	・修理または交換
5	スロットルワイヤ	・遊び過大/過小 ・動きが悪い	・修正 ・修理または交換
6	肩掛バンド	・フックの変形、損傷 ・バンドのほつれ	・修理または交換 ・修理または交換
7	エンジン取付部	・ゆるみ	・締め付け
8	燃料タンク	・取付部ゆるみ ・燃料パイプ損傷 ・キャップパッキン損傷	・締め付け ・交換 ・交換
9	マフラ	・取付部ゆるみ	・締め付け

■ 定期点検

下記の使用時間毎に点検を行ってください。

点検整備項目		使用時間			備考
		25時間	50時間	100時間	
エンジン	エアクリーナエレメントの清掃	○	○	○	
	燃料フィルタの点検清掃	○	○	○	
	スパークプラグの点検清掃、調整	○	○	○	スキマ0.6～0.7mm
	冷却空気取入口、シリンダフィンの点検清掃	○	○	○	
	燃料タンクの清掃		○	○	
	シリンダ取付ボルトの増締め			○	
	エンジン各部の増締め			○	
	マフラカーボン落し			○	
本体	ギヤケースグリース補給	○	○	○	
	クラッチドラム汚れ除去			○	

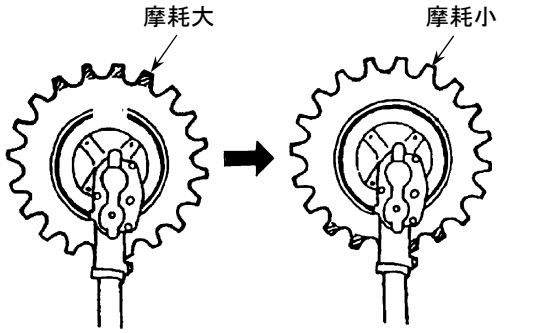
■ 刈刃

⚠ 警 告	● 作業を安全に行うために、作業開始前と作業終了後には必ず刈刃の点検をしてください。刈刃のゆるみ、チップ飛び、ひび割れ、欠け、曲がりなどを放置して継続使用すると作業中に刈刃の破片が飛散し、作業者や付近にいる人に当たるなどして重大な人身事故を招く恐れがあります。 ● 刈刃点検時は必ずエンジンを停止してください。エンジンをかけたまま点検すると機体の転倒等により刈刃が回り出す恐れがあります。

⚠ 注 意	● 刈刃の点検や着脱をするときは必ずエンジンを停止し、丈夫な手袋を装備してください。素手で刈刃を取り扱うと負傷する恐れがあります。

重 要	刃先が摩耗して丸くなった刈刃の使用は、切れ味が悪く、草が巻き付きやすくなったり、作業時に腕にかかる負担が増えます。 また、機械の燃費や寿命にも悪影響を与えます。

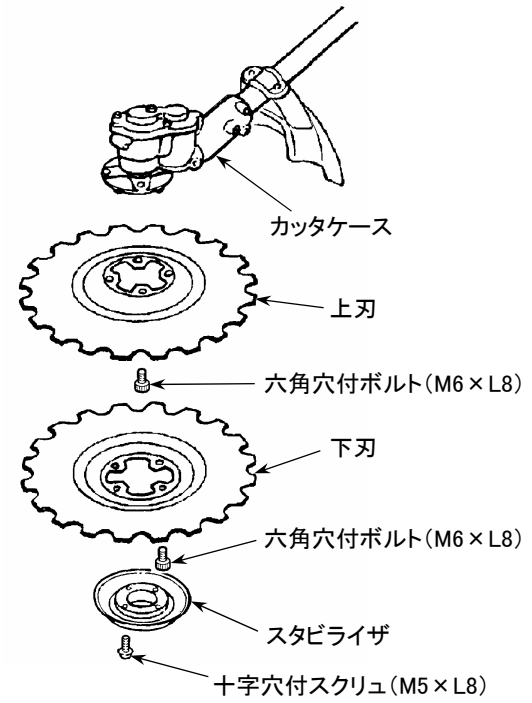
図18



刃の切れ味の良否は、作業能率や疲労度に大きく影響します。使用後に刈刃についた汚れを落しながら刃の摩耗度合いを点検し、必要に応じて刈刃の取付位置をかえるか研ぎ直しをしてください。

刈刃取付位置の変え方

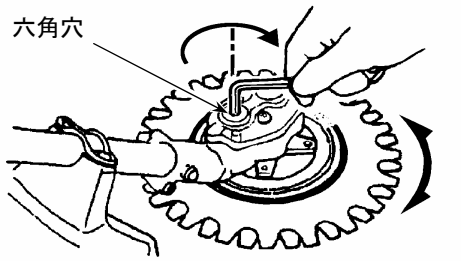
図19



刈刃の摩耗度合いは、頻繁に使う部分とそうでない部分とで異なります。刃の取付位置を変えることにより、刈刃全体を有効に使うことができます。

1. 機体を裏返しにして、スタビライザ、下刃、上刃の順にカッタケースから取り外してください。
2. 刃を90度または180度回した位置にセットしてから、元通り取り付けてください。六角穴付ボルト（M6×L8）各４本は均等に締め付けてください。
   【締め付けトルク】
   11.8～14.7N･m｛120～150kgf-cm｝
3. スタビライザを十字穴付スクリュ（M5×L8）４本で元通り取り付けてください。

図20

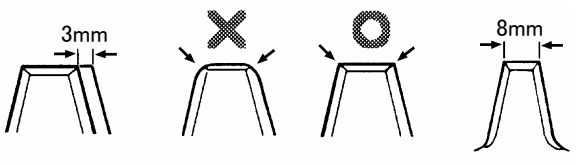


4. カッタケース上部の六角穴にレンチを差し込み、時計回りに数回転させて上刃と下刃の摺り合わせをしてください。

重要 **刈刃を交換したり、研ぎ直したりした後は、表面の塗装やバリのためエンジンの回転を上げても刈刃が動き出さないことがあります。**
このような場合はいったんエンジンを停止し、上記要領で刈刃の摺り合わせを行ってください。

刃の研ぎ方

図21

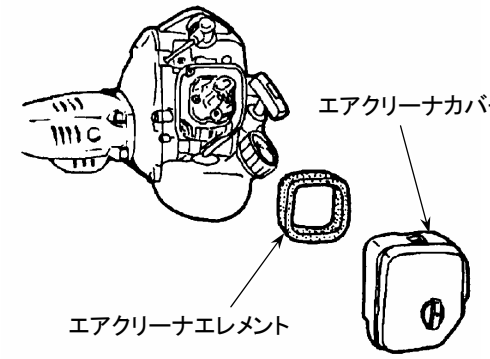


- 上刃と下刃を約3mmずらしてから、刃先の側縁部と前縁部にグラインダを軽く当てて研いでください。このとき、刃先の角が丸くなると切れ味が落ちますので注意してください。
- 刃先の幅が8mm以下になったら新しい刈刃と交換してください。

■ エアクリーナ

重 要	エアクリーナエレメントが詰まるとエンジンの出力が低下し、燃費が悪化します。 また、エレメントを外して運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。

図22



使用２５時間毎を目安に、エアクリーナカバーを取り外して内部のゴミを取り除いてください。

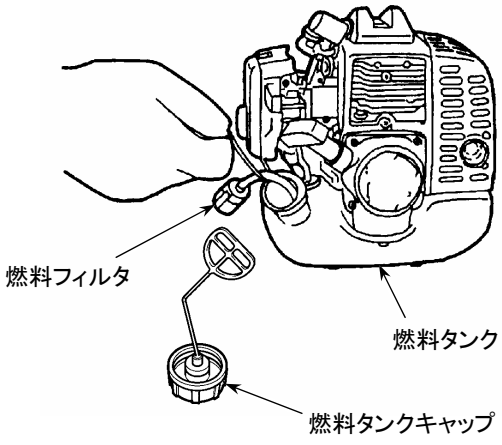
エレメントの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯でていねいに洗い、よく乾燥させてから元通り取り付けてください。

エレメントが変形・破損した場合は新品と交換してください。

■ 燃料フィルタ

重 要	燃料フィルタが詰まるとエンジン回転が上がらなかったり、回転変動を起こしたりします。

図23



使用２５時間毎を目安に、燃料タンクから燃料フィルタを取り出し、ゴミを取り除いてください。

汚れや詰まりがひどい場合は、新品と交換してください。

■　スパークプラグ

⚠ 注 意	エンジン停止直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。 高温のためやけどを負う恐れがあります。

重 要	● スパークプラグの締め付けが強過ぎるとシリンダのネジ部が破損することがあります。プラグ締付け時は必ず付属のプラグレンチを使用してください。 ● 燃料を吸い込み過ぎたり、オイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。 ● プラグ交換時は指定品を使用してください。 指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。

使用２５時間毎を目安に、スパークプラグを取り外して電極を点検し、汚れている場合はワイヤブラシなどで取り除いてください。

● プラグ取り付け時は、まず指でねじ込み、最後に付属のプラグレンチで締め付けます。
【締め付けトルク】
15.3～22.4N･m｛150～220kgf-cm｝

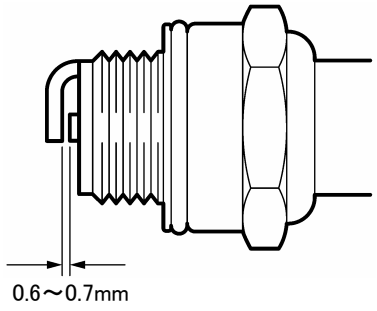
重要　初めからプラグレンチで締め込むとねじ山が破損する恐れがあります。

● プラグ交換時は指定品を使用してください。

指定スパークプラグ	チャンピオン　RCJ6Y または NGK　BPM7A

● 電極間隙は0.6～0.7mmが適当です。

図24

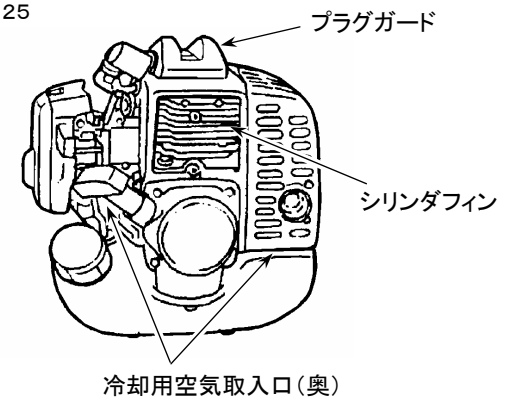


■ 冷却用空気通路

⚠ 注 意	● 運転中は、プラグガードを取り外したり、冷却用空気取入口に物を差し込んだりしないでください。回転部品に触れる恐れがあり危険です。 ● 点検の際は、必ずエンジンを停止させた状態で行ってください。

重 要	冷却用の空気取入口やシリンダフィンの間にゴミが詰まるとエンジンが過熱し、故障の原因となります。

図25

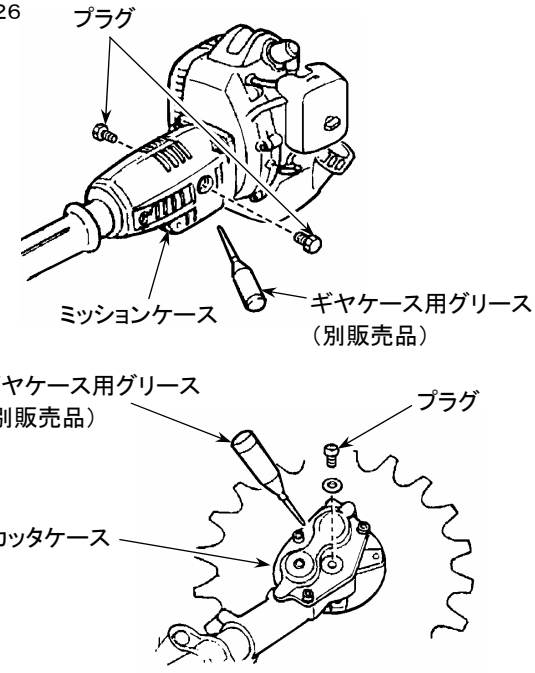


使用２５時間毎を目安に、冷却用空気取入口やシリンダの冷却フィン回りを点検し、付着したゴミを取り除いてください。

シリンダ上部は、プラグガードを取り外してから点検してください。

■ ギヤケース

図26



ミッションケースおよびカッタケース内部の潤滑用グリースは５０時間をめどに補充してください。

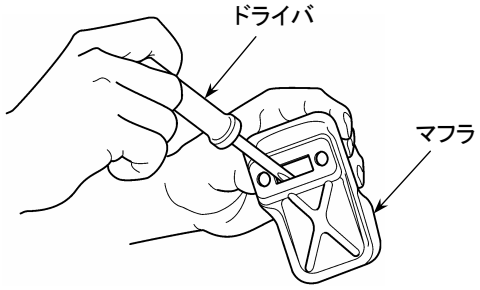
ミッションケース補充時は、左図のようにケース左右のプラグを取り外し、チューブ入りグリースを約5mL注入してください。

カッタケースの補給量は１回当り約10ccとしてください。

指定グリース	ゼノア純正グリース 品番：Z3180-96211（100g入り） または リチウム系耐熱用グリース（＃2）

■ 100時間使用毎の手入れ

図27



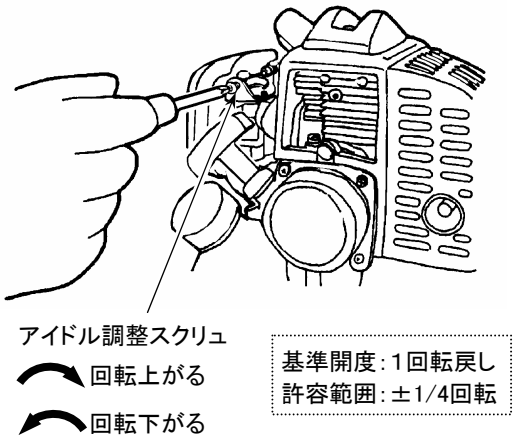
1. マフラを外して、排気口にドライバを入れてカーボンを落してください。同時にマフラ出口のカーボンも落してください。
2. 各締め付け部の増締めを行なってください。
3. クラッチのライニングとドラムの間に油がついていないか点検し、油がついている場合は、オイルの混ざっていない無鉛ガソリンで拭いてください。

■ エンジンの調整

⚠ 注 意	スロットルレバーをアイドリング位置にしたときに刈刃が動き続ける状態は危険です。アイドル調整スクリュを再調整しても直らない場合は、スロットルレバーやスロットルワイヤの作動不良、クラッチ故障などの可能性がありますので、お買い上げ店に点検修理を依頼してください。

重 要	キャブレタは精密部品のため、分解整備には知識と技能が必要です。本書で説明している調整を行ってもエンジンの調子が思わしくない場合は、お買い上げ店にご相談ください。

図28



アイドル調整スクリュ

スロットルレバーを最低速の位置にしたときのエンジン回転数を調整するスクリュです。
右（時計回り）に回すと回転が上がり、左（反時計回り）に回すと回転が下がります。
スロットルレバーを完全に戻したとき、刈刃が回り続けたりエンジンが止まってしまう場合は再調整してください。
アイドリング回転数　規格値:2800～3200rpm

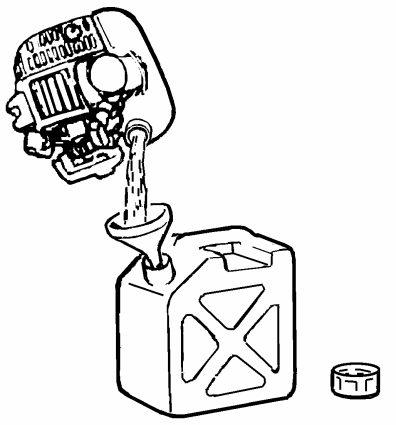
■ 長期保管時の手入れ

⚠ 危 険	引火による火災の恐れがあります。 ● 燃料抜き取り時は、火気を遠ざけてください。 ● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。

⚠ 注 意	保管する場合は下記の点に注意してください。 ● 屋外放置を避けること。 ● 夏場の高温になる車内への放置を避けること。

重 要	● 長期間（2ヵ月以上）使用しない場合は、燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料が変質してキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障（始動不良や出力不足）の原因となります。 ● 保管時は、燃料タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締め過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。

図29



1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次回の使用に備え完全に整備してください。
2. 燃料タンクから燃料を容器に移した後、燃料フィルタを引き出してください。
3. キャブレタの始動ポンプを燃料が出なくなるまで押し、燃料タンクに戻った燃料を容器に移してください。
4. 燃料フィルタをタンクに戻し、燃料タンクキャップを取り付けてください。
5. エンジンを始動し、自然に止まるまで運転してください。
6. スパークプラグを取り外し、２サイクルオイルを1～2mLエンジン内に入れてください。
   スタータロープを２～３回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
7. ギヤケースにグリースを補給し、スロットルワイヤなどの金属部に防錆油を塗布してください。
8. 刈刃に軽くオイルを塗布してカバーを取り付け、屋内の火気や湿気のない場所に保管してください。

製 品 主 要 諸 元

名称・型式		ゼ ノ ア 揺 動 式 草 刈 機	
		SGC2310DLW-EZ	
ハンドル形式		ループ	両手
本体乾燥質量※1 kg		6.7	6.9
外形寸法※2	全長 mm	1940	
	全幅 mm	230	610
	全高 mm	210	360
刈刃		複動式円形刃（歯数20、外径230mm）	
動力伝達方式		自動遠心クラッチ、ギヤ、カムクランク	
減速比		7.87（カムクランク軸）	
刈刃回転方向		反時計回り（作業者から見て）	
エンジン	形式	単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン	
	排気量 cm^3	22.5	
	燃料タンク容量 L	0.6	
	使用燃料	潤滑油混合ガソリン	
	使用潤滑油	2サイクルエンジン専用オイル	
	混合比	ゼノア純正オイル（FD級）使用時 50：1 ゼノア純正オイル（FC級）使用時 40：1	
	キャブレタ	ダイヤフラム、ロータリーバルブ式	
	点火方式	IC制御フライホイルマグネト式	
	スパークプラグ	チャンピオン RCJ-6Y	
	始動方式	蓄力式リコイルスタータ式	
	停止方式	点火回路一次側短絡式（押しボタン）	

（※1）肩掛バンド、燃料を除く
（※2）刈刃装着状態
改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。ご了承ください。

ZENOAH®

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社　国内営業本部

ナビダイヤル® **0570-084987**

月～金/9:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日は除く）

http://www.zenoah.co.jp/

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社：〒350-1165　埼玉県川越市南台1-9

（平成24年3月現在）

848-BR3-93A2 (E3/A1203) PRINTED IN JAPAN